

コロナ後の新事業への取組について

－大阪府内製造事業者の実態調査分析－

大阪産業経済リサーチセンター 主任研究員 小野 顕弘

新型コロナウイルスの世界的な流行に対する行動規制が緩和され、これまでの生活環境を取り戻してきましたが、コロナ禍を経て人々の生活スタイルの変革が進んでいます。さらに、ウクライナやパレスチナでの国際紛争、異常気象や大規模自然災害などの発生などから、様々な製品やサービスの価格が急激に上昇しており、さらに少子化に伴う採用難や人材不足など、企業経営においても、これまでになかったような大きな環境変化が続いています。そのため、府内企業においても、この新しい経営環境に対応するため、社内改革やデジタル化・コスト対策の推進や新分野への進出など多様な取組が進められています。

そこで当センターでは、令和6年度に大阪府内の製造事業者を対象に、環境変化への対応と新事業への取組について調査を実施し、その結果をとりまとめました。本レポートで、その概要を説明します。

取引環境の変化について

昨今の様々な経営環境の変化は府内製造事業者の事業運営にどのような影響を与えているのでしょうか。まずは、取引環境の変化の実態についてみてみます（図表1）。

受注量（生産量）については、増加した企業が42.2%（「増加した」18.1%＋「やや増加した」24.1%）に対して、減少した企業は36.8%（「やや減少した」21.8%＋「減少した」15.0%）とやや増加企業の方が多くなっていますが、全体でみると増加と減少に二極化しているといえます。

一方で、（平均）受注単価は、上昇した企業が65.2%（「上昇した」16.3%＋「やや上昇した」48.9%）、（平均）原価率も上昇した企業が64.6%（同31.9%＋32.7%）となっています。

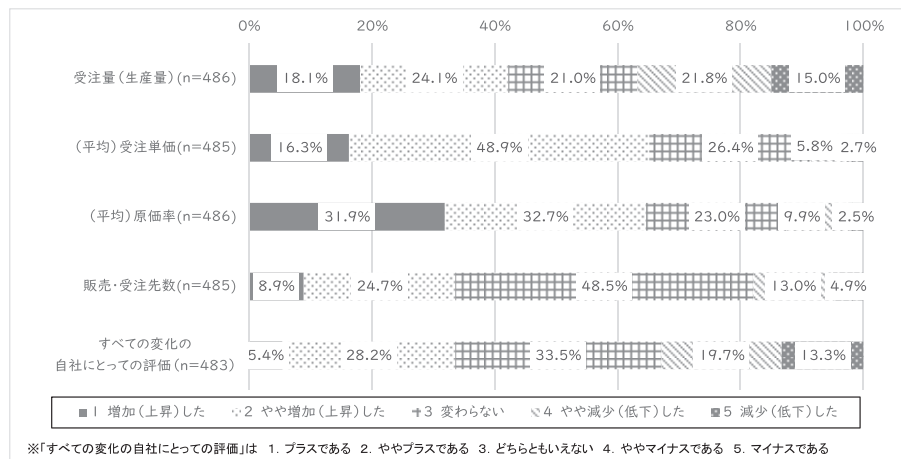
ここから、多くの企業でコスト上昇はみられるものの、それらに対して価格転嫁も実施できている

ことがわかります。

さらに受注環境に関してみると、販売・受注先数は、変わらない企業が48.5%とほぼ半数を占めているものの、増加した企業（33.6%（「増加した」8.9%＋「やや増加した」24.7%））が減少した企業（17.9%（「減少した」4.9%＋「やや減少した」13.0%））を上回っており、取引先の分散化傾向は強まっているといえます。

それらの変化に関して、各社における総合的な評価をみると、プラスである企業が33.6%（「プラスである」5.4%＋「ややプラスである」28.2%）、マイナスである企業が33.0%（「マイナスである」13.3%＋「ややマイナスである」19.7%）、「どちらともいえない」企業が33.5%とほぼ3等分されており、企業の状況は多様化しており、一様ではないことがわかります。

図表1 昨今の取引環境の変化



新事業への取組の実態について

■ そのような環境の変化に対して、各社様々な対応が取られています、その一つが新事業への取組となります。そこで新事業への取組状況をみてみます（図表2）。ここから新事業へ取り組んでいる企業は36.2%と、全体の1/3程度となっています。さらに、新事業に取り組んでいる企業の、取組の進捗状況についてみると（図表3）、「目標から遅れているが、取組は進んでいる」企業が60.5%と最も多く、「目標通りに取組が進んでいる」企業は27.1%、「目標以上に取組が進んでいる」企業はわずか3.4%となっています。ただし、「取組が進んでいない」企業は9.0%にとどまっているため、多くの企業において、新事業は計画した通りに進められてはいないものの、取組としては進められていることがわかります。

一方で、新事業の成果については（図表4）、「売上高の増加」が41.0%、「利益の増加」が32.0%と

業績面で成果を実現している企業が多い他、「新規販売先・受注の獲得」（37.1%）や「新製品・技術の開発」（31.5%）など営業面や技術面での成果を獲得している企業も多くなっています。一方で成果は「特になし」とする企業は15.7%にとどまっていることから、新事業は計画通りに進めることは難しいものの、多くの企業が業績面など何らかの成果を実現できていることがわかります。

新事業はリスクの高い取組である一方で、多くの企業が様々な成果に結び付けていることから、昨今のような環境の変化が激しく、既存事業の成長の期待しにくい状況にあって、新事業への取組は有効な取組の一つとなっているといえます。

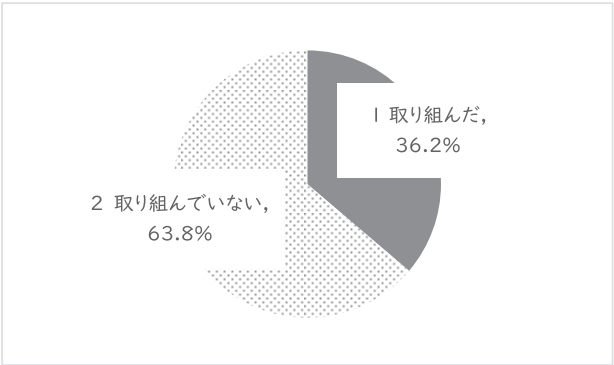
報告書の内容（全文）は、当センターのウェブサイトからご覧いただけます。

●大阪産業経済リサーチセンター

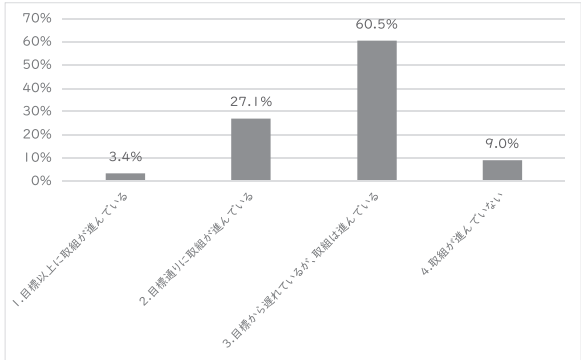
<http://www.pref.osaka.jp/aid/sangyou/index>



図表2 新事業への取組



図表3 新事業の進捗状況



図表4 新事業の成果

